

令和6年度 第2回那須塩原市環境審議会 会議録

○開催日時：令和7(2025)年2月12日(水) 午後2時～午後3時20分

○開催場所：那須塩原市役所 本庁舎 303会議室

○出席者：

【委員】15名中14名(うちオンライン2名)

【市】瀧口副市長、環境戦略部長、ネイチャーポジティブ課(課長、課長補佐、環境企画係長、同係主査、自然共生係長、環境衛生係長)、カーボンニュートラル課(課長)、サーキュラーエコノミー課(課長、課長補佐兼一般廃棄物係長)

【受託業者】平成理研株式会社(2名)

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【事務局】

環境審議会規則第5条第2項の規定により、委員の半数以上の出席が必要。本日15名中14名(オンラインを含む)の出席があるため、本会成立の報告。

また、会議録作成のため録音させていただく。

環境審議会規則第5条第1項の規定により議長は会長が務めることとなっているため、議事進行を会長に依頼。

(1) 第2期環境基本計画改定の方針等について

【会長】

3の議題(1)第2期環境基本計画改定の方針等について、事務局から説明願う。

【事務局】

第1回環境基本計画市民懇談会及び第1回環境審議会に出された意見等をまとめたので共有する。(資料1～4ページの説明)

また、先日(1/24)開催した第2回環境基本計画市民懇談会でいただいた意見等を紹介する。

(意見等)

- ・パブリックコメント終了後に最後の会議を開催されたい。

(→そのようにスケジュール修正済み)

- ・市民への効果的な周知方法を検討されたい(ホームページからダウンロードすることを自治会を通じて周知するなど)。

(→市としても様々な媒体で周知を図っていく。)

- ・市民団体に対して、市の環境政策について説明をしてほしい(出前講座のような形で)。

(→要望いただければ、個別に職員が出向いて各団体に説明させていただく。)

- ・現行計画56ページにある環境配慮行動指針(身近なところでどういった行動をすべきか)のような具体的な行動指針を示してもらった方が分かりやすい。

(→改定版でもお示ししていきたい。)

・市民アンケートの自由記述欄の意見等も反映されたい。

今後、事務局において改正骨子と素案を作成予定。各施策、指標、目標値等に対し、改めて御意見をいただきたい。

前回の環境審議会でも意見として出ていたが、現在の達成状況を考慮した目標値の設定や指標の妥当性のほか、市の環境政策と直接的な関係が乏しく如何ともし難い指標もあると考えている(光化学スモッグ注意報発令数、道路改良率、上・中塩原温泉事業供給件数など)。改定に当たって見直しをしたい。

計画の目標に沿った大きなビジョンを意識し、市、市民、事業者等の各主体が取り組むべきことが分かるようなものにしていきたい。数値目標ばかりではなく、目指すべき方向性をしっかりと示していきたい。まずは改定骨子と素案について御意見をいただければと思う。

資料5～6ページに、現行計画に応じた修正の方向性をまとめた。

第1部に関して、第1章(計画の基本的事項)の計画改定の趣旨については「2050 Sustainable Vision 那須塩原」の考えを盛り込んだ内容とすること、計画の対象範囲については環境基本条例の改正(3月議会上程)内容と整合を図ること、計画期間については令和9年度まで→令和12年度までに延長するなどの改正を行いたい。

第2章(市の姿)については、情報をアップデートするとともに不要な項目は削除又は見直しをしたい。

第3章(市の環境の現状と課題)について、第1期の達成状況を入れるかどうかは検討したい(紙ベースでは作らないため、スライド形式で見やすさを重視して作成したい)。

第4章(計画の方向性)について、市の将来像「人と自然が調和し みんなでつくる持続可能なまち 那須塩原」は環境基本計画の根幹であるため、現行のままとしたいと考えている。

第2部に関して、第1章(計画の展開)の主要施策・環境配慮施策については、第1部(基本構想)とのつながりが見えづらいため、そちらも配慮して見直ししたい。計画の推進及び進捗管理についても、現在進めているネイチャーポジティブアライアンス(仮)の構築やゼロカーボンコンソーシアムの運営など企業連携の視点を盛り込み、事業者や関係団体との連携を進めていくことについても記載したいと考えている。

第4部(地域別環境配慮指針)のエリア設定については市総合計画の土地利用構想に準じているが、エリア分けの見直しが必要かどうか検討したい。

資料7～8ページは、現行計画における平成29年度から令和5年度までの各指標の目標達成状況を一覧にしたもの。参考までに御覧いただきたい。なお、黄色い塗りつぶし部分は令和9年度目標に対して未達成のもの。

【委員からの質疑】

Q. 気候、人口、世帯数・産業別就業者数等について、現状のトレンドから先を見通し、それに対してどういう手を打っていくかが重要。2030年くらいまでは、例えば気候や人口等がどう変わっていくのか、推計値でよいので補助線を引いていくのが一般的。現行計画では、実績で現状の課題を捉えて施策に落としているが、5年先あたりまでのトレンドで補助線を引く必要がある。

例えば、人口が減少しているにもかかわらず公園の数を増加させるという施策になってい

る。情報のアップデートだけでなく、少なくとも視野に入っている未来を予測してアプローチを考えるべきである。

第2章「市の姿」も第3章「市の環境の現状と課題」も、現状しか書いていない。将来を予測して施策や目標値を見直してはどうか。

A. 計画期間を2030年度までに延長するため、少なくともそこまでの推計や予測に基づき施策や目標値を設定したい。

Q. 環境基本条例の改正点を伺う。

A. 同条例第8条に環境基本計画の根拠規定がある。前文や総則的なもの（目的や基本理念）は改定しない。個別の基本的施策については「2050 Sustainable Vision 那須塩原」の内容（自然環境、気候変動対策、循環経済の連携により相乗効果を目指すもの）を盛り込み、整合を図る。また、現行条例では地球温暖化対策が個別に条建てとなっているが、あくまでも前述の3施策を連携して進める、といった形に改める。環境基本計画の根拠となる規定については改正しない。

Q. 現時点で目標未達成の指標があるが、市の努力が足りないのか、そもそも基礎自治体の所掌事務の範囲外で目標設定されているのか、必要性はあるものの社会の変化により見直しが必要になっているのか、といったことは整理する必要がある。

今後、市としてどこに注力し、社会背景を踏まえどういった目標を立てるべきかは、エビデンスに基づき再度整理が必要であるし、それが改定の根幹になると思う。どういう形で達成目標や環境項目の見直しを進める予定か伺う。

A. 市が環境施策に取り組んだ結果、達成できないものもあるし、市の環境施策だけではどうにもならないものもあると考える。今回の改定では、現行計画のような多くの細かい指標の設定ではなく、大きな方向性を示すものにしたいと考えている。現状にそぐわない指標は削除するなどして、指標の設定は必要最小限としたい。素案の段階で改めて御相談させていただきたい。

Q. あまり簡素にしてしまうと取組として後退しているようにも見受けられてしまうため、見直しの理由や根拠は市としてしっかり説明できるようにしていただきたい。

A. 個別計画で設定してある指標は省略してもよいのではと考えている。市のほかの計画との整合は図るが、重複する部分の記載については改めて検討したいと考えている。

(2) 環境に関するアンケート結果について

【会長】

3の議題(2)環境に関するアンケート結果について、事務局から説明願う。

【受託業者】

アンケート結果については、平成理研株式会社から説明させていただく。

⇒資料9～38ページに沿って、アンケート結果を報告。

【委員からの質疑】

Q. アンケートの目的と活用方法を伺う。

A. 目的は、市民、事業者及び中高生が環境についてどう考えているか、どのような悩みを持っているのか等の確認や、9年前に実施した現行計画策定時のアンケートとの比較等のため

であり、その結果を市の環境政策（環境基本計画）への反映に活用したい。

○．質問事項は9年前と同じにして、前回との比較評価を数値として載せるべきである。方法論の一つとして、資料10ページの図に前回の結果もプロットして比較するとよい。

Q．前回のアンケートでは回答数が831人（41.6％）であり、回収率が10％ほど減っているが、どう考えているか。

A．前回と同じく無作為抽出で2,000人に郵送で実施したところであるが、アンケートの方法は考え直す必要があるかもしれない。回収率の低下は重く受け止めている。

Q．アンケート結果を政策に反映するということであれば、より詳細に（年代別、エリア別、職業別など）取らないと難しいと思う。政策反映に際しては、詳細にクロス分析することが重要である。

A．（エリア別には取っていないが）年代別、職業別でのクロス解析は今後行う予定である。

(3) 計画改定業務に係るスケジュールについて

【会長】

3の議題(3)計画改定業務に係るスケジュールについて、事務局から説明願う。

【事務局】

改定に係るスケジュールを、資料39～40ページのとおりに一部修正させていただく。

(委員からの質疑なし)

【会長】

以上で議題が全て終了したので、進行を事務局にお返しする。

4 そ の 他

▼カーボンニュートラル課から情報提供

資料41ページについて、1/17に那須塩原市ゼロカーボンコンソーシアムを設立した。脱炭素に関する情報交換や事例提供など事業者の連携により地域の脱炭素化に向けた事業を支援し、脱炭素社会の実現を目的とする。現在、会員となる市内事業者を募集している。3/6には第1回の全体フォーラムを開催予定。

5 質疑応答

6 閉 会

▼事務局から連絡

- ・次回（第3回）は7月下旬頃に開催予定。
- ・2/16に那須塩原市図書館みるるにて「なすしおばらサステナブル展」を開催予定。展示のほか、講演を3部構成で実施する。ぜひお越しいただきたい。